



# 道母連だより

## 新年を迎えて

北海道知事

鈴木直道



新年あけましておめでとうございます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、ひとり親家庭の福祉の向上や自立促進にご尽力いただきしておりますことに、深く感謝申し上げますとともに、この度、「道母連だより」が、記念すべき100号を迎えるましたことを、心からお祝い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3年を超える長期にわたり、私た

新年あけましておめでとうございます。社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、ひとり親家庭の福祉の向上や自立促進にご尽力いただきしておりますことに、深く感謝申し上げます。

社会経済活動が活発化する一方、物価高騰が長期化するなど、道民の皆様の暮らしや事業者の方々の経営環境に大きな影響が及

ぼ中、道では、価格高騰等経済対策を講じるなど、暮らしの安心の確保を最優先に取り組んでまいりました。

また、6月に「こどもまんなか

ちの生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行という大きな節目を迎えるました。これまでの感染症

対策などにご理解とご協力をいたしましたことに、改めて心から感謝申し上げます。

道といたしましては、今後とも、道民の皆様のご意見を丁寧にお聞きし、国や市町村との連携を強化しながら、子ども応援社会の実現

に向けた取組を進めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解と

ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新

年のご挨拶いたします。

■第100号

発行／令和6(2024)年1月1日

発行／社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東8丁目

北海道母子福祉センター内

電話 (011) 261-0447

●題字は山高しげり先生 ●印刷 横アイワード

応援サポーター」を宣言し、妊娠や子ども連れの方に配慮する「子どもファスト・トラック」に全ての道立施設で取り組むなど、子どもたちや子育て中の方々に寄り添う機運の醸成を図るとともに、道営住宅への子育て世帯の優先入居権の拡充や道の施策への子ども等

の意見の反映に取り組むなど、子育て支援の充実に取り組んでまいりました。

この度、令和5年度北海道母子寡婦福祉連合会の役員改選にあたり理事の役をお引き受けいたしました。

私の中では、コロナ禍の現状で苦小牧風花の会の運営、人材確保と共に就労の場の確保等、地元に課題が山積したなかでの承諾は無理との結論でした。

断ることを前提に風花の会の顧問に報告をいたしました。顧問より、風花の会は会員たちの子ども達が奨学金を頂いたり、全国のいろいろな研修に参加し各単位会の皆さんと交流し勉強をさせて頂いたことを、次の役員へ繋げる期間と思い引き受けるように説得をされました。

この度、令和5年度北海道母子寡婦福祉連合会の役員改選にあたり理事の役をお引き受けいたしました。

理事 甲谷 由美子

(苦小牧風花の会 理事長)

理事に就任して

明けましておめでとうございます。新しい年を迎える、今年こそはよい年にしたいと願い乍ら、みなさまのご家族の方々が明るく過ごせますことを祈っています。

機関紙「道母連だより」が100号を迎える、幸先のよい一年になりました。昭和51年、再刊発行から継り��けて、道母連の歴史を物語ってきたのではと、その時々の広報部の先輩に感服の至りです。

100号の勢いに乗って新年をスタートして行きたいと考えますが、会員の高齢化、ひとり親家庭の未加入、地区母連の解散、単位会の休会など問題は山積しています。ないがしろにはしませんが、子どもは成長しています。前を見て、奨学金給付事業を「知らなかつた!」という未加入のひとり親家庭がいるよう、地区母連、単位会のみなさんにお願いしたいところ

です。

六月開催予定の道母連研修会も（旧全道単位会会長会議）呼称を変えながら、初の開催、道内の会員のみなさんに集う機会を設けコロナ禍後、団体のあり方も変化していると思います。その取組みについての意見等も頂戴できればと考えます。静から動へと変つていかなければと、前進してまいります。

各事業所とも、コロナの自粛生活が続き、日々緊張の連続でしたが、気持にゆとりの明るさを感じられるようになりました。

たくさんの事業を何十年も継続できていることは、誠実に働いている職員のお蔭と感謝しています。

今後とも、道母連だよりが、人と人をつなぎ、広まっていくことを願って、道母連を支えているみなさんに感謝を忘れず、前進する年に

す。新しい年を迎え、今年こそはよい年にしたいと願い乍ら、みなさまのご家族の方々が明るく過ごせますことを祈っています。

（旧全道単位会会長会議）呼称を変えてから、初の開催、道内の会員のみなさんに集う機会を設けコロナ禍後、団体のあり方も変化していると思います。その取組みについての意見等も頂戴できればと考えます。静から動へと変つていかなければと、前進してまいります。

各事業所とも、コロナの自粛生活が続き、日々緊張の連続でしたが、気持にゆとりの明るさを感じられるようになりました。



## 道母連だより100号のあゆみ

昭和  
35年

「母子連だより」第1号刊行（4号まで）  
第1回全道母子福祉大会開催記念として

「道母連だより」再刊1号発行

北海道共同募金会から資金半額の配分金 B5版4万部  
堂垣内尚弘北海道知事よりお祝いメッセージ  
道立病院院内保育所業務委託事業開始10ヶ所

題字は全国未亡人団体協議会（現全母子協）理事長山高しげり氏

北海道集中豪雨被害（8月）被災調査及び見舞金配分報告

横路孝弘北海道知事就任のごあいさつ

道母連結成30周年記念誌「やまとふところ」第2集発刊

道母連結成25周年記念誌「やまとふところ」第1集発刊

道母連30周年記念誌「やまとふところ」第3集発刊

道母連35周年記念誌「やまとふところ」第4集発刊

道母連40周年記念誌「やまとふところ」第5集発刊

道母連45周年記念誌「やまとふところ」第6集発刊

道母連50周年記念誌「やまとふところ」第7集発刊

道母連55周年記念誌「やまとふところ」第8集発刊

道母連60周年記念誌「やまとふところ」第9集発刊

道母連65周年記念誌「やまとふところ」第10集発刊

道母連70周年記念誌「やまとふところ」第11集発刊

道母連75周年記念誌「やまとふところ」第12集発刊

道母連80周年記念誌「やまとふところ」第13集発刊

道母連85周年記念誌「やまとふところ」第14集発刊

道母連90周年記念誌「やまとふところ」第15集発刊

道母連95周年記念誌「やまとふところ」第16集発刊

道母連100周年記念誌「やまとふところ」第17集発刊

道母連105周年記念誌「やまとふところ」第18集発刊

道母連110周年記念誌「やまとふところ」第19集発刊

道母連115周年記念誌「やまとふところ」第20集発刊

道母連120周年記念誌「やまとふところ」第21集発刊

道母連125周年記念誌「やまとふところ」第22集発刊

道母連130周年記念誌「やまとふところ」第23集発刊

道母連135周年記念誌「やまとふところ」第24集発刊

道母連140周年記念誌「やまとふところ」第25集発刊

道母連145周年記念誌「やまとふところ」第26集発刊

道母連150周年記念誌「やまとふところ」第27集発刊

道母連155周年記念誌「やまとふところ」第28集発刊

道母連160周年記念誌「やまとふところ」第29集発刊

道母連165周年記念誌「やまとふところ」第30集発刊

道母連170周年記念誌「やまとふところ」第31集発刊

道母連175周年記念誌「やまとふところ」第32集発刊

道母連180周年記念誌「やまとふところ」第33集発刊

道母連185周年記念誌「やまとふところ」第34集発刊

道母連190周年記念誌「やまとふところ」第35集発刊

道母連195周年記念誌「やまとふところ」第36集発刊

道母連200周年記念誌「やまとふところ」第37集発刊

道母連205周年記念誌「やまとふところ」第38集発刊

道母連210周年記念誌「やまとふところ」第39集発刊

道母連215周年記念誌「やまとふところ」第40集発刊

道母連220周年記念誌「やまとふところ」第41集発刊

道母連225周年記念誌「やまとふところ」第42集発刊

道母連230周年記念誌「やまとふところ」第43集発刊

道母連235周年記念誌「やまとふところ」第44集発刊

道母連240周年記念誌「やまとふところ」第45集発刊

道母連245周年記念誌「やまとふところ」第46集発刊

道母連250周年記念誌「やまとふところ」第47集発刊

道母連255周年記念誌「やまとふところ」第48集発刊

道母連260周年記念誌「やまとふところ」第49集発刊

道母連265周年記念誌「やまとふところ」第50集発刊

道母連270周年記念誌「やまとふところ」第51集発刊

道母連275周年記念誌「やまとふところ」第52集発刊

道母連280周年記念誌「やまとふところ」第53集発刊

道母連285周年記念誌「やまとふところ」第54集発刊

道母連290周年記念誌「やまとふところ」第55集発刊

道母連295周年記念誌「やまとふところ」第56集発刊

道母連300周年記念誌「やまとふところ」第57集発刊

道母連305周年記念誌「やまとふところ」第58集発刊

道母連310周年記念誌「やまとふところ」第59集発刊

道母連315周年記念誌「やまとふところ」第60集発刊

道母連320周年記念誌「やまとふところ」第61集発刊

道母連325周年記念誌「やまとふところ」第62集発刊

道母連330周年記念誌「やまとふところ」第63集発刊

道母連335周年記念誌「やまとふところ」第64集発刊

道母連340周年記念誌「やまとふところ」第65集発刊

道母連345周年記念誌「やまとふところ」第66集発刊

道母連350周年記念誌「やまとふところ」第67集発刊

道母連355周年記念誌「やまとふところ」第68集発刊

道母連360周年記念誌「やまとふところ」第69集発刊

道母連365周年記念誌「やまとふところ」第70集発刊

道母連370周年記念誌「やまとふところ」第71集発刊

道母連375周年記念誌「やまとふところ」第72集発刊

道母連380周年記念誌「やまとふところ」第73集発刊

道母連385周年記念誌「やまとふところ」第74集発刊

道母連390周年記念誌「やまとふところ」第75集発刊

道母連395周年記念誌「やまとふところ」第76集発刊

道母連400周年記念誌「やまとふところ」第77集発刊

道母連405周年記念誌「やまとふところ」第78集発刊

道母連410周年記念誌「やまとふところ」第79集発刊

道母連415周年記念誌「やまとふところ」第80集発刊

道母連420周年記念誌「やまとふところ」第81集発刊

道母連425周年記念誌「やまとふところ」第82集発刊

道母連430周年記念誌「やまとふところ」第83集発刊

道母連435周年記念誌「やまとふところ」第84集発刊

道母連440周年記念誌「やまとふところ」第85集発刊

道母連445周年記念誌「やまとふところ」第86集発刊

道母連450周年記念誌「やまとふところ」第87集発刊

道母連455周年記念誌「やまとふところ」第88集発刊

道母連460周年記念誌「やまとふところ」第89集発刊

道母連465周年記念誌「やまとふところ」第90集発刊

道母連470周年記念誌「やまとふところ」第91集発刊

道母連475周年記念誌「やまとふところ」第92集発刊

道母連480周年記念誌「やまとふところ」第93集発刊

道母連485周年記念誌「やまとふところ」第94集発刊

道母連490周年記念誌「やまとふところ」第95集発刊

道母連495周年記念誌「やまとふところ」第96集発刊

道母連500周年記念誌「やまとふところ」第97集発刊

道母連505周年記念誌「やまとふところ」第98集発刊

道母連510周年記念誌「やまとふところ」第99集発刊

道母連515周年記念誌「やまとふところ」第100集発刊



日高地区（浦河町）セミナー  
(6月24日)  
「アロマとヨガを楽しみませんか？」  
講師 神馬 亮子氏

体制(令和5年4月)  
センター長  
センターライ  
就業促進員・相談員  
各地区では、事前  
議、就業セミナー、  
回相談会等が実施さ  
就業・転職・生活  
ナを経た母子家庭の  
向けて活動の充実が期

平成23年にスタートした事業は、室蘭市にあるセンターを拠点に、道央圏5地区（胆振・日高・石狩・空知・後志）の広域を職員3名で担当しています。

## 母子家庭等就業・ 自立支援センター事業

道母連事業報告書



## 胆振地区（室蘭市）合同会議 (9月12日)



空知地区（岩見沢市）セミナー  
(9月16日)  
「心ほっこり 子育てセミナー」  
講師 泉 久美子氏



後志地区（岩内町）セミナー  
(7月15日)  
「一緒にヨガを楽しみませんか？」  
講師 服部 圭子氏



道東各地から参加の方々

## 道 東

帯広市つくし会

久保 千鶴

開催日 令和5年11月12日（日）  
場所 ホテルテトラリゾート十勝川  
参加数 59名

「最近の特殊詐欺について」と題し、釧路方面本部帯広警察署生徒安全課の別紙幸治氏を講師に迎え、講演を拝聴させて頂きました。まず始めに「チャートでわかるだまされやすい手口」を、参加者全員が行い、自分のココロの弱点を知るが出来た所から詐欺の手口10種類について、スライドを使い学びました。オレオレ詐欺以外にも、こんなに沢山の詐欺が巧妙かつ多様化している事に驚き、詐欺被害者の年齢も独居老人、資産財産が沢山ある方が被害に遭いやすい傾向

向にあるような気がするから、お金のない自分は大丈夫」は、SNS社会の現代においては、もはや幻想であり、「自分は大丈夫」こそ危険である事を、

自分自身の過去の出来事に照らしあわせながら、再認識する事が出来ました。詐欺と気付かなくても、おかしいなと思う心が大切、そして恥かしい格好悪いと隠さず、まずは周りの人へ聞いてみる、相談してみる、さらには詐欺についての記事やニュースを他

人事と思わず、手口に觸れる事が被害を未然に防ぐ事だと教えて下さいました。

最寄りの警察署に24時間つながる相談専用ダイヤル「#9110」は早速登録しました。



講師の帯広警察署 別紙幸治氏

## 道 南

江差母子会

加澤優香子

開催日 令和5年9月30日（土）  
場所 江差町役場会議室他  
参加数 58名

さわやかな秋晴れの中、全道4ブロック研修会（道南地区）が檜山の江差町で開催されました。

開会式には、江差町照井町長に出席していただき、歓迎のメッセージによりスタートしました。

最初の講話では、江差保健所管理栄養士である児玉氏を講師に招き、「栄養バランスのとれた食生活」と題し、誰にとっても身近な食について特にタンパク質摂取の必要性やフレイル対策、減塩のコツ等についてわかりやすく解説していただきました。

最後に、参加者は江差追分会館に集合し、江差追分会正師匠である棚橋氏による前唄・本唄・後唄を通した江差追分、ソーラン節の熱唱では会場が一つとなり大変盛り上がりました。

新型コロナウイルス感染症は五類に移行しましたが、遠方よりはるばるお越しくださいた会員の皆さんには深く感謝申し上げますとともに、本研修会が無事終了できることに厚くお礼申し上げます。



道南広域からの参加者と講師の管理栄養士 児玉佑未子氏



江差追分会正師匠棚橋氏の江差追分、ソーラン節を満喫



道母連代表で発表の  
東佳子さん

第67回東北・北海道地区  
母子寡婦福祉研修大会に  
参加して

開催日 令和5年9月2～3日  
場所 秋田キャッスルホテル  
函館市母子寡婦福祉会  
東佳子

本大会の研修討議では道母連代表として「目標そな自立、活かそう支援策」とのテーマで発表させていただきました。助言者の方からは、多様な制度がある中で自分の状況や思いに合った制度を見つけて活かすことが出来て良かった、子育てしながらの資格取得への配慮として託児利用できるものがあること等、私自身はもちろん、研修に参加されている方々にも参考となる助言でした。

今回の研修大会のメインテーマは「つなごう人の輪、守ろう地域

佳子

の輪」でしたが、研修に参加させていただけ度に、同じ志や環境、そして経験からのアドバイスや励ましを受けたことがあります。「参加してよかったです！」と思っていました。

各地域の活動や取組みを聞くことは、自分の地域で必要とされていることは何なのか、どうすれば助けを必要としている人に必要な支援を届けることが出来るのか、今、自分たちに出来ることは何なのかというこのヒントや具体的な策を得ることが出来ます。何より、人の温かさに触ることで元気と勇気をもらいます。

国や地域、そして一人ひとりがそれぞれの役割を考え、人と人とが思いやりの気持ちでつながろうと行動すること、今、自分が出来ることを小さな一步で良いので踏み出すことから始まると思います。



道母連から参加の方々 東北の方々も一緒に

に参加させたが、研修

させていただけ度に、同じ

志や環境、

そして経験

からのアド

バイスや励

ましを受け

ることがあ

り、「参加

してよかったです！」

と思っています。

各地域の活動や取組みを聞くことは、自分の地域で必要とされていることは何なのか、どうすれば助けを必要としている人に必要な

支援を届けることが出来るのか、今、自分たちに出来ることは何なのかというこのヒントや具体的な策を得ることが出来ます。何より、人の温かさに触ることで元気と勇気をもらいます。

国や地域、そして一人ひとりがそれぞれの役割を考え、人と人とが思いやりの気持ちでつながろうと行動すること、今、自分が出来ることを小さな一步で良いので踏み出すことから始まると思います。

令和5年度全国母子寡婦  
研修大会に参加して

開催日 令和5年11月18・19日  
場所 長崎県佐世保市

安平町母子寡婦会

鳥越真由美

4年振りに一堂に会した開催となる研修大会参加について報告いたします。一日目は地元九州文化学園吹奏楽部の演奏に始まり、開会式、行政説明、研修討議。二日目は障がい者支援事業運営の南高愛隣会理事長で医師の田島光浩氏による講演、大会宣言・決議、地元佐世保市の3チームによるよさこい演舞、閉会式では次回開催地・富山県からの挨拶で閉幕しました。

①行政説明・こども家庭

・こどもに直接届く支援等を拡充

②研修討議・発表（6名）  
〔総評〕コーディネーターによる

・活動において青年期は支援の提供者であることを伝えていく

③講演・田島光浩氏  
・活動における青年期は支援の提供者であることを伝えていく

④参加者の状況  
・道母連所属団体からは6名参加

・高齢者が多かつた  
・地区研修大会を兼ねている状況

（次年も）に毎年開催が必要なのかとの疑問を感じた

⑤大会参加を通して感想  
・当事者団体としての責任。制度

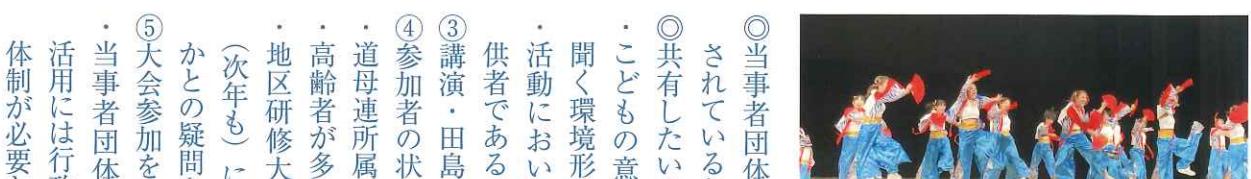
活用には行政（自治体）との協力体制が必要と改めて感じました。



地元佐世保市のよさこい演舞



講師の田島光浩氏



地元佐世保市のよさこい演舞



ゼミ旅行でのUSJ  
スプラッシュマウンテンの後で

奨学金を受給した子ども達の卒業後の状況を道母連までお知らせください。自薦・他薦でお待ちしています。

現在は大学受験に向けて、ひたすら机に向かっています。志望校合格に向けてこれからも頑張っていきます。本当にありがとうございます。

色鮮やかに、唯一無二の宝物にしてくれました。いただいた奨学金は、学費や部活動費に使わせていただききました。このような一生の宝物となるような高校生活を送ることが出来たのは、そのご支援があったからこそだととても感謝しています。

私は札幌の高校に進学したために地元を離れ、高校生活と共に一人暮らしを始めました。最初は勉強や部活、家事に追われ、憧れていた高校生生活とは程遠いものでした。その為私はたった3ヶ月で野球部を退部してしまいました。しかし、また野球をやりたいという思いが強くなり、2年生の秋に再入部しました。私はこの選択が高校生活の中で最も大きな英断だったと思思います。振り返ると、野球部としての思い出が私の中では溢れかえっています。部活のチームとして、仲間と一緒に、先輩や後輩として関わってくれた人たちが、私の高校生活を

## 私の高校生活

稚内市(現在札幌市) 福原 奈生

奨学金で  
翔く!

私は札幌の高校に進学したために地元を離れ、高校生活と共に一人暮らしを始めました。

最初は勉強や部

活、家事に追われ、憧れていた高校生生活とは程遠いものでした。その為私はたった3ヶ月で野球部を退部してしまいました。しかし、また野球をやりたいという思いが強くなり、2年生の秋に再入部しました。私はこの選択が高校生活の中で最も大きな英断だったと思います。振り返ると、野球部としての思い出が私の中では溢れかえっています。部活のチームとして、仲間と一緒に、先輩や後輩として関わってくれた人たちが、私の高校生活を



部活に打ち込んだ高校生活最後の夏の大会

苫小牧市 佐々木玲奈さん

この度は奨学金の支授をありがとうございます。  
私は来年、以前から聞かれていたことを叶う  
ため、専門学校へ進学を考えていました。  
頂いたお金は、その為に大事に大切に使わせて  
顶きましたと感じます。  
不在の時は、私が家の事をさしていろので、寂しく  
バイトも出来ず、金銭的にも大変な事も  
あります。感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

帯広市 前田あかりさん

この度は奨学金を頂けたことに心から感謝申上げます。  
高校生活を両親共に過ごさせて出るのも、ご支援のお陰で  
非常に育り難く感じています。  
高校生活でアーティストを頑張る、将来は社会へ貢献していく  
夢を胸に頑張ります。  
感謝の気持ちを胸に、これからも努力を積み重ねて  
まいります。  
最後になりましたが、ご理解してくださった  
全ての方々に心より  
お礼申上げます。  
太田 華蓮

当別町 太田華蓮さん

## 奨学金 御礼状

函館市 山崎舞子さん

この度は、母子寡婦特種被災者扶助  
にお越しいただきありがとうございました!  
去年に引き続き、応援させていただけました  
が、今回は対象から外れてしまふのが大変な  
こと、運営していることで不安でした。扶助を  
いただきながら、今年から通勤距離が  
伸びる、奨学旅行資金にまことにございました!  
新しい思い出作りのひとつとして、冬のごま  
のまよ船をいただかうございましたので、  
たいへんうれしく思っております。物価も高く  
なり、生活費も節約の大変な中ですが  
ようやく世の中になってしまっています。このたびは  
お詫びをしていただき、お腹一杯市民  
の1人として、ありがとうございました!お詫びを

今回は奨学金を下さりありがとうございました。  
このお金は進学先の学費の入試料に着用する時の  
ステッカー等を買ったり、大扇風などのために使おうと  
思います。  
もしくは、軽音楽部も継続するつもりなので機材の  
ために使おうと思います。  
今が一番何事も大事な時期なのでお金の使い方も  
慎重に考えて使っていきます。  
本当にありがとうございました。  
齊藤 琉一郎

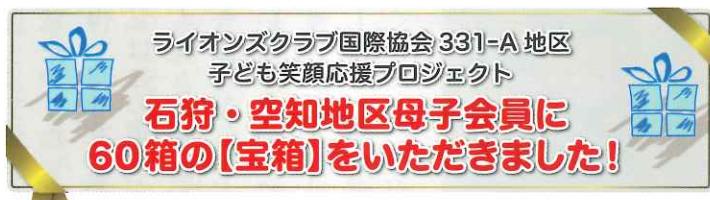
伊達市 斎藤琉一郎さん



8月9日、猛暑の中、今年も大きなトラックでライオンズクラブの皆さんに届けてくださいました



盛りだくさんのプレゼントに大喜び、子ども達にはチューパッピーが人気です！



昨年に引き続き今年度も、8月9日と12月6日の2度に亘り各60箱の食糧支援をいただきました。長引いたコロナは5類に移行しましたが、終わりの見えない物価高騰は母子家庭の生活を直撃しています。猛暑が続いた夏にいただいたカップラーメンやレトルト食品にお母さんは、「助かります…」と感謝し、子ども達はジュースやお菓子に歓声を上げていました。



江別市母子会小高久子会長から感謝状贈呈  
他の単位会からもお贈りしました



60箱の贈呈式  
設楽幸子ガバナーから畠和子  
理事長へ

昭和51年、再刊第1号発行の道母連  
だよりは、爾来47年の歳月を歩み、令  
和6年新年号で100号を迎えました。  
あゆみを作成するにあたり、99号す  
べてに目を通しました。携帯電話もパ  
ソコンもなく、交通も不便な時代に、  
どれほどどの知恵を結集し、どれほどどの  
情熱で臨まれたかに思いを巡らせ感銘  
を受けると同時に、錚々たる顔ぶれの  
企画・編集に羨ましさを感じました。  
長引いたコロナ禍、道母連・地区母  
連・単位会すべての事業や活動が停  
滞した3年間も、道母連だよりは年2  
回発行を守り続けました。掲載する記  
事不足の中、苦肉の策で4号に亘った  
延べ99名の「子どもたちの笑顔」は、  
会員の方ばかりではなく全国の方々にも  
喜んでいただき、明るい未来を期待さ  
せてくれました。

未だ不十分とは言いながら国の福祉  
政策は、道母連発足時に比べると手厚  
くなっているように感じます。単位会、  
地区母連・道母連の存在意義は時代と

昭和51年、再刊第1号発行の道母連  
だよりは、爾来47年の歳月を歩み、令  
和6年新年号で100号を迎えました。  
あゆみを作成するにあたり、99号す  
べてに目を通しました。携帯電話もパ  
ソコンもなく、交通も不便な時代に、  
どれほどどの知恵を結集し、どれほどどの  
情熱で臨まれたかに思いを巡らせ感銘  
を受けると同時に、錚々たる顔ぶれの  
企画・編集に羨ましさを感じました。

長引いたコロナ禍、道母連・地区母  
連・単位会すべての事業や活動が停  
滞した3年間も、道母連だよりは年2  
回発行を守り続けました。掲載する記  
事不足の中、苦肉の策で4号に亘った  
延べ99名の「子どもたちの笑顔」は、  
会員の方ばかりではなく全国の方々にも  
喜んでいただき、明るい未来を期待さ  
せてくれました。

未だ不十分とは言いながら国の福祉

政策は、道母連発足時に比べると手厚

くなっているように感じます。単位会、

地区母連・道母連の存在意義は時代と

道母連母子福祉振興基金へ  
ご芳志ありがとうございました  
基金累計額（令和5・11・30現在）  
一一二、〇一七、四三七円

### 編集後記

令和5年度共同募金助成金  
は、4ブロック研修会、広報  
紙発行に充当させていただき  
ます。  
ご報告し、お札を申し上げ  
ます。

共に変化していますが、だからこそ、  
目に見えない支え合い、寄り添うこと  
の必要性を、今こそ示す時なのです。

終わりの見えないコロナに耐えて3  
年、多少の落ち着きに安堵したのも束  
の間、食品、生活用品の止まるることな  
い物価高騰は、弱い立場の母子寡婦家  
庭を直撃しています。

令和7年には、道母連結成70周年を  
迎えます。可能性を秘めた若いお母さ  
んと未来を拓く子ども達、そして経験  
豊かな頼もしい寡婦軍団が力を合わ  
せ、今一度、世代を超えて寄り合つ、  
居心地の良い母子寡婦会を目指しま  
しょう。

道母連だよりは100号を節目と  
して新たなアイディア、工夫を重ね、  
多くの方々のご協力をいただきながら、  
道母連の発展と共に、今後も力強く歩  
み続けることを願つて止みません。

広報部 田中 京子 青木枝美子  
原田さつき 安達史子